

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<応用化学生物学科>(認定課程: 中一種免(理科))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標	
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目		
年次	時期	科目名称					
1年次	春学期	教育学	エレクトロニクス入門	スポーツ総合1		科学的な自然観の見方・考え方ができる理科教員としての資質能力を養う。法律に定める学校教員が、その崇高な使命を全うするために学校教育の仕事を理解し、認識できるよう育成する。	
			化学入門	理系のための基礎英語 I			
				情報学基礎演習			
	秋学期	教職概論	物理学基礎	スポーツ総合2			日本における理科教育の課題を明確にし、その課題解決に向けて理科教員として調査・研究する態度を養う。「生きる力」の理念を踏まえて、科学の確かな学力を確立できる能力を育成する。
		特別支援教育学	化学基礎				
2年次	春学期	教育課程論	電磁気学			中学校指導要領「理科」の目標や内容を研究し、理科を学ぶことの意義や有用性、さらに科学への関心を高められるような科学の心をもてる資質や能力を育成する。	
		教育方法論	オプティクス				
		道徳教育指導論					
	秋学期	特別活動指導論	量子力学			小・中・高の学習指導要領から、その系統性を踏まえた理科教育の研究を深め、各校種のねらいを汲んだ円滑な接続を図れる指導力を養う。	
		生徒指導論(進路指導含む)	物理化学A				
		教育心理学	有機化学A				
		理科教育法 I	生物学A				
	秋学期集中	総合的な学習の時間の指導法	細胞生物学				
			地学概論1				
			物理学実験				
3年次	春学期	教育経営論	物理化学B			今日の「知識基盤社会」において、科学の基本的な見方や概念となる科学的素養を幅広く養う。そのために俯瞰的なものの見方ができ、探究心豊かな資質・能力を培う。	
		理科教育法 II	分子生物学				
		教育実習事前事後指導	地学概論2				
	春学期集中		生物学実験				
			地学実験				
	秋学期	理科教育法 III				「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする理科の構造について、各校種の発達段階を踏まえた理科の構造化が認識出来る力を養う。模擬授業実践を積み重ねて確かな理科指導力を育成する。	
		理科教育法 IV					
		教育実習事前事後指導					
学校体験活動							
秋学期集中	教育相談	化学実験					
4年次	春学期	教育実習 I または 教育実習 II				理科教育に欠かせない、実験・観察の手法やICT活用の工夫を通して総合的な授業の組み立てが出来るような「授業力」を養う。模擬授業の実践を通して現場の「教育実習」でその力を発揮できるよう育成する。	
		教育実習事前事後指導					
	秋学期	教職実践演習				理科教育におけるIT授業の有用性の研究や環境教育やエネルギー教育を見据えての実践的な指導ができる資質能力を養う。模擬授業の実践を通して現場の「教育実習」で、その力を発揮できるよう育成する。	
		教育実習事前事後指導					

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<応用化学生物学科>(認定課程:高一種免(理科))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目名称				
1年次	春学期	教育学	エレクトロニクス入門	スポーツ総合1		高等学校理科教員として、義務教育と高等学校教育との間の系統性を重視した円滑な接続ができる。発達の段階に応じた科学的な見方や考え方を養うことに努める。
		特別支援教育学	化学入門	理系のための基礎英語 I		
	春学期集中			情報学基礎演習		
				日本国憲法		
秋学期	教職概論	物理学基礎	スポーツ総合2		高等学校理科の目標や指導内容を踏まえて、必修科目の趣旨と学校の創意工夫を生かすための裁量を理解できる。また、理科の特色である実験・観察を通じた学習活動を充実させることに努める。	
		化学基礎				
2年次	春学期	教育課程論	電磁気学			義務教育から高校理科の「○○基礎」(○○:物理・化学・生物・地学)に繋がる各分野の柱(キーワード)から観察・実験を通し、探究的な学習を推進させることができる。
		教育方法論	オブティクス			
		道徳教育指導論				
	秋学期	特別活動指導論	量子力学			中学校から高等学校理科へと系統的な学習を確立させ、4分野の先端科学や学際的領域に関する研究なども扱えるよう「理科課題研究」の意義を理解する。特に指導計画の作成と内容の取扱いにも十分留意させる。
		生徒指導論(進路指導含む)	物理化学A			
		教育心理学	有機化学A			
		理科教育法 I	細胞生物学			
	総合的な学習の時間の指導法	生物学A				
		地学概論1				
		応用化学生物学実験A				
3年次	春学期	教育経営論	物理化学B			高等学校における理科教育の意義、及び目的と今日的課題を受け止め分析できる。特に、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の4分野の柱を踏まえた学習指導法を理解し、その評価まで理解できる。
		理科教育法 II	分子生物学			
		教育実習事前事後指導	地学概論2			
			応用化学生物学実験B			
	秋学期	理科教育法 III				理科4分野の「○○基礎」から「○○」に繋げる授業のデザインを研究し、学習指導案を適切に作成できる力を養う。「模擬授業」を通じてP→D→C→Aの流れを押さえて、4観点評価まで確認できる授業づくりができる。
		理科教育法 IV				
		教育実習事前事後指導				
秋学期集中	学校体験活動					
	教育相談					
4年次	春学期	教育実習 I または教育実習 II				これまでの模擬授業を振り返り、「教育実習」で理科学習指導力が発揮できるよう現場での実践力を育成する。高等学校理科の究極の狙いである「科学的な自然観」の育成に努める。
		教育実習事前事後指導				
	秋学期	教職実践演習				高等学校理科を学ぶための意義や有用性を踏まえ、効果的な授業展開(TTなど)の工夫を図ることができる。生徒の特性や進路に応じた科学的な探究活動を推進するために教育課程編成力を養う。
教育実習事前事後指導						

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<電子光工学科>(認定課程:中一種免(数学))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目名称				
1年次	春学期	教育学	微分積分学Ⅰ	スポーツ総合1		数学教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能の修得を図る。併せて数学教育に必要な学習内容の整理を行うとともに、より厚い指導内容の修得に努める。
		特別支援教育学		理系のための基礎英語Ⅰ		
	春学期集中			情報学基礎演習		
				日本国憲法		
秋学期	教職概論	微分積分学Ⅱ	スポーツ総合2		数学教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能及び数学教育に必要な学習内容の定着に努めるとともに、数学特有の数学的活動や数学的な思考力・表現力等について理解を図る。	
		情報技術概論				
2年次	春学期	教育課程論	工学基礎数学			中学校数学科の目標や指導内容の概観を理解するため、授業全体の内容構成や考え方及び各領域の内容把握に努める。併せて指導学年や教材観等を考慮した指導の意義について確認する。
		教育方法論	情報アーキテクチャ			
		道徳教育指導論				
	秋学期	特別活動指導論	離散数学			算数・数学における小学校・中学校・高等学校の系統性に留意し、その発達段階に応じた算数的活動・数学的活動の在り方を踏まえ、中学校数学科の目標や指導内容の概観を理解する。
		生徒指導論(進路指導含む)	フーリエ応用			
		教育心理学	制御工学概論			
	数学科教育法Ⅰ	システム統計				
	総合的な学習の時間の指導法	数値計算概論				
3年次	春学期	教育経営論	代数学概論			数学教育の意義及び目的と課題が確認できる。これらを踏まえた授業デザインの手法および学習指導法が理解出来る。また、評価の意義とその方法が理解できる。
		数学科教育法Ⅱ	システム制御論			
		教育実習事前事後指導	統計解析			
			シミュレーション工学			
	秋学期	数学科教育法Ⅳ	代数学Ⅰ			授業デザインの考え方を踏まえ、適切な学習指導案作成が出来る。また模擬授業を通じ、効果的な指導力の育成を図る。特に数学を創造・発展させる「数学的活動」に留意しその理解に努める。
		数学科教育法Ⅲ	幾何学概論			
		教育実習事前事後指導				
秋学期集中	学校体験活動					
	教育相談					
4年次	春学期	教育実習Ⅰまたは教育実習Ⅱ	幾何学Ⅰ			効果的な授業展開および授業改善のための、インストラクショナルデザインを基本とした学習指導や学習教材の開発手法を理解する。また、模擬授業を通じ「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。
		教育実習事前事後指導	幾何学Ⅰ演習			
			複素関数と特殊関数			
	秋学期	教職実践演習				効果的なICT活用やその手法の理解に努め、実際にデジタル教材開発に必要なスキルの習得を図る。また開発したデジタル教材を活用した模擬授業を通じ、「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。
		教育実習事前事後指導				

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<電子光工学科>(認定課程:高一種免(数学))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標		
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目			
年次	時期	科目名称						
1年次	春学期	教育学	微積分学Ⅰ	スポーツ総合1		高等学校数学科教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能の修得を図る。併せて数学教育に必要な学習内容の整理を行うとともに、より深厚な指導内容の修得に努める。		
		特別支援教育学		理系のための基礎英語Ⅰ				
				情報学基礎演習				
	春学期集中				日本国憲法			
		秋学期	教職概論	微積分学Ⅱ	スポーツ総合2			高等学校数学科教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能及び数学教育に必要な学習内容の定着に努めるとともに、数学特有の数学的活動や数学的な思考力・表現力等について理解を図る。
				情報技術概論				
2年次	春学期	教育課程論	工学基礎数学			高等学校数学科の目標や指導内容の概観を理解するため、授業全体の内容構成や考え方及び各領域の内容把握に努める。併せて指導学年や教材観等を考慮した指導の意義について確認する。		
		教育方法論	情報アーキテクチャ					
		道徳教育指導論						
	秋学期	特別活動指導論	離散数学			算数・数学における小学校・中学校・高等学校の系統性に留意し、その発達段階に応じた算数的活動・数学的活動の在り方を踏まえ、高等学校数学科の目標や指導内容の概観を理解する。		
		生徒指導論(進路指導含む)	フーリエ応用					
		教育心理学	制御工学概論					
		数学科教育法Ⅰ	システム統計					
	総合的な学習の時間の指導法	数値計算概論						
3年次	春学期	教育経営論	代数学概論			高等学校における数学教育の意義及び目的と課題が確認できる。これらを踏まえた授業デザインの手法および学習指導法が理解出来る。また、評価の意義とその方法が理解できる。		
		数学科教育法Ⅱ	システム制御論					
		教育実習事前事後指導	統計解析					
			シミュレーション工学					
	秋学期	数学科教育法Ⅲ	代数学Ⅰ			高等学校数学科における授業デザインの考え方を踏まえ、適切な学習指導案作成が出来る。また模擬授業を通じ、効果的な指導力の育成を図る。特に数学を創造・発展させる「数学的活動」に留意しその理解に努める。		
		数学科教育法Ⅳ	幾何学概論					
		教育実習事前事後指導						
		学校体験活動						
	秋学期集中	教育相談						
4年次	春学期	教育実習Ⅰまたは教育実習Ⅱ	幾何学Ⅰ			高等学校数学科における効果的な授業展開および授業改善のための、インストラクショナルデザインを基本とした学習指導や学習教材の開発手法を理解する。また、模擬授業を通じ「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。		
		教育実習事前事後指導	幾何学Ⅰ演習					
			複素関数と特殊関数					
	秋学期	教職実践演習				高等学校数学科における効果的なICT活用やその手法の理解に努め、実際にデジタル教材開発に必要なスキルの習得を図る。また開発したデジタル教材を活用した模擬授業を通じ、「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。		
		教育実習事前事後指導						

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<電子光工学科>(認定課程:高一種免(情報))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目名称				
1年次	春学期	教育学		スポーツ総合1		情報モラルやアプリケーションの活用方法などの情報科学の基本的な知識を身に付け、情報収集を行い発表する技術を身に付けることで、情報活用の実践力を育成する。
		特別支援教育学		理系のための基礎英語 I		
	春学期集中			情報学基礎演習		
				日本国憲法		
秋学期	教職概論	情報学	スポーツ総合2		情報社会に参画する態度、情報の科学的な理解について身に付け、日本での小中高での情報教育についての理解を深め、さらに問題点を指摘し、改善策を検討できるよう育成する。	
2年次	春学期	教育課程論	アプリケーションプログラミング			コンピュータ等の情報処理・通信の仕組みやプログラミングなどの情報社会を支える情報技術の役割を理解し、情報への科学的な理解をさらに深める。
		教育方法論	デジタル回路			
		道徳教育指導論	情報通信基礎			
	秋学期	特別活動指導論	情報セキュリティ			情報システムの働きについて学びながら、実社会でどのような情報サービスが提供されているのかについて知識を深め、さらに新たなサービスの提案できるような能力を養う。
		生徒指導論(進路指導含む)	光システム実験			
		教育心理学				
	総合的な学習の時間の指導法					
3年次	春学期	教育経営論	コンピュータアプリケーション			高等学校での情報科目の指導要領への知識を深めつつ、ソフトウェアやデータベース、コンピュータネットワークなどの情報システム、情報通信への技術について深く学び、生徒への指導力の基礎となる知識について身に付ける。
		情報科教育法 I	デジタル信号処理			
		教育実習事前事後指導	電子光工学実験			
	秋学期	情報科教育法 II	企業リテラシ			指導時に利用する情報化コンテンツを、実際に分析・設計・開発・評価を行う。また、模擬授業実践を積み重ね、情報科目への指導力を育成する。
		教育実習事前事後指導	マイクロコンピュータ実習			
		学校体験活動	画像工学			
			情報通信ネットワーク工学			
		光ファイバシステム				
	秋学期集中	教育相談				
4年次	春学期	教育実習 I または 教育実習 II	情報と職業			コンピュータ等の実習やICT活用の手法を学び、それらを積極的に活用した授業デザインを構築できるようにする。また、模擬授業の実践を通して現場の「教育実習」でその力を発揮できるよう育成する。
		教育実習事前事後指導	教育とコンピュータ			
	秋学期	教職実践演習				日々進歩する情報技術への対応力を身に付け、その時代にあった情報モラルについて指導できるよう、模擬授業の実践を通して現場の「教育実習」で、その力を発揮できるよう育成する。
		教育実習事前事後指導				

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<情報システム工学科>(認定課程:中一種免(数学))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標		
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目			
年次	時期	科目名称						
1年次	春学期	教育学	微分積分学Ⅰ	スポーツ総合1		数学教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能の修得を図る。併せて数学教育に必要な学習内容の整理を行うとともに、より厚い指導内容の修得に努める。		
		特別支援教育学		理系のための基礎英語Ⅰ				
				情報学基礎演習				
	春学期集中				日本国憲法			
		秋学期	教職概論	線形代数学Ⅰ	スポーツ総合2			数学教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能及び数学教育に必要な学習内容の定着に努めるとともに、数学特有の数学的活動や数学的な思考力・表現力等について理解を図る。
				微分積分学Ⅱ				
2年次	春学期	教育課程論	工学基礎数学			中学校数学科の目標や指導内容の概観を理解するため、授業全体の内容構成や考え方及び各領域の内容把握に努める。併せて指導学年や教材観等を考慮した指導の意義について確認する。		
		教育方法論						
		道徳教育指導論						
	秋学期	特別活動指導論	離散数学			算数・数学における小学校・中学校・高等学校の系統性に留意し、その発達段階に応じた算数的活動・数学的活動の在り方を踏まえ、中学校数学科の目標や指導内容の概観を理解する。		
		生徒指導論(進路指導含む)	線形代数学Ⅱ					
		教育心理学	フーリエ応用					
		数学科教育法Ⅰ	統計学基礎					
		総合的な学習の時間の指導法						
3年次	春学期	教育経営論	代数学概論			数学教育の意義及び目的と課題が確認できる。これらを踏まえた授業デザインの手法および学習指導法が理解出来る。また、評価の意義とその方法が理解出来る。		
		数学科教育法Ⅱ	統計解析					
		教育実習事前事後指導						
	秋学期	数学科教育法Ⅲ	代数学Ⅰ			授業デザインの考え方を踏まえ、適切な学習指導案作成が出来る。また模擬授業を通じ、効果的な指導力の育成を図る。特に数学を創造・発展させる「数学的活動」に留意しその理解に努める。		
		数学科教育法Ⅳ	幾何学概論					
		教育実習事前事後指導	数値計算概論					
		学校体験活動	データマイニング					
	秋学期集中	教育相談						
4年次	春学期	教育実習Ⅰまたは教育実習Ⅱ	幾何学Ⅰ			効果的な授業展開および授業改善のための、インストラクショナルデザインを基本とした学習指導や学習教材の開発手法を理解する。また、模擬授業を通じ「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。		
		教育実習事前事後指導	幾何学Ⅰ演習					
			複素関数と特殊関数					
	秋学期	教職実践演習				効果的なICT活用やその手法の理解に努め、実際にデジタル教材開発に必要なスキルの習得を図る。また開発したデジタル教材を活用した模擬授業を通じ、「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。		
		教育実習事前事後指導						

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<情報システム工学科>(認定課程:高一種免(数学))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目名称				
1年次	春学期	教育学	微分積分学Ⅰ	スポーツ総合1		高等学校数学科教員の資質として必要となる、数学に関する基本的な知識・技能の修得を図る。併せて数学教育に必要な学習内容の整理を行うとともに、より深厚な指導内容の修得に努める。
		特別支援教育学		理系のための基礎英語Ⅰ		
	春学期集中			情報学基礎演習		
				日本国憲法		
	秋学期	教職概論	線形代数学Ⅰ	スポーツ総合2		
2年次	春学期	教育課程論	工学基礎数学			高等学校数学科の目標や指導内容の概観を理解するため、授業全体の内容構成や考え方及び各領域の内容把握に努める。併せて指導学年や教材観等を考慮した指導の意義について確認する。
		教育方法論				
		道徳教育指導論				
	秋学期	特別活動指導論	離散数学			算数・数学における小学校・中学校・高等学校の系統性に留意し、その発達段階に応じた算数的活動・数学的活動の在り方を踏まえ、高等学校数学科の目標や指導内容の概観を理解する。
		生徒指導論(進路指導含む)	線形代数学Ⅱ			
		教育心理学	フーリエ応用			
		数学科教育法Ⅰ	統計学基礎			
	総合的な学習の時間の指導法					
3年次	春学期	教育経営論	代数学概論			高等学校における数学教育の意義及び目的と課題が確認できる。これらを踏まえた授業デザインの手法および学習指導法が理解出来る。また、評価の意義とその方法が理解できる。
		数学科教育法Ⅱ	統計解析			
		教育実習事前事後指導				
	秋学期	数学科教育法Ⅲ	代数学Ⅰ			高等学校数学科における授業デザインの考え方を踏まえ、適切な学習指導案作成が出来る。また模擬授業を通じ、効果的な指導力の育成を図る。特に数学を創造・発展させる「数学的活動」に留意しその理解に努める。
		数学科教育法Ⅳ	幾何学概論			
		教育実習事前事後指導	数値計算概論			
	学校体験活動	データマイニング				
秋学期集中	教育相談					
4年次	春学期	教育実習Ⅰまたは教育実習Ⅱ	幾何学Ⅰ			高等学校数学科における効果的な授業展開および授業改善のための、インストラクショナルデザインを基本とした学習指導や学習教材の開発手法を理解する。また、模擬授業を通じ「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。
		教育実習事前事後指導	幾何学Ⅰ演習			
			複素関数と特殊関数			
	秋学期	教職実践演習				高等学校数学科における効果的なICT活用やその手法の理解に努め、実際にデジタル教材開発に必要なスキルの習得を図る。また開発したデジタル教材を活用した模擬授業を通じ、「教育実習」を想定した実践力の育成を図る。
		教育実習事前事後指導				

教員の養成の目標達成のための計画(授業科目の履修計画)

<情報システム工学科>(認定課程:高一種免(情報))

履修カリキュラムと到達目標

履修年次		具体的な科目名称				到達目標
		教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目名称				
1年次	春学期	教育学		スポーツ総合1		情報モラルやアプリケーションの活用方法などの情報科学の基本的な知識を身に付け、情報収集を行い発表する技術を身に付けることで、情報活用の実践力を育成する。
		特別支援教育学		理系のための基礎英語 I		
	春学期集中			情報学基礎演習		
				日本国憲法		
秋学期	教職概論	情報学	スポーツ総合2		情報社会に参画する態度、情報の科学的な理解について身に付け、日本での小中高での情報教育についての理解を深め、さらに問題点を指摘し、改善策を検討できるよう育成する。	
2年次	春学期	教育課程論	プログラミングとアルゴリズム基礎			コンピュータ等の情報処理・通信の仕組みやプログラミングなどの情報社会を支える情報技術の役割を理解し、情報への科学的な理解をさらに深める。
		教育方法論	情報アーキテクチャ			
		道徳教育指導論	プログラミング応用			
	秋学期	特別活動指導論	情報セキュリティ			情報システムの働きについて学びながら、実社会でどのような情報サービスが提供されているのかについて知識を深め、さらに新たなサービスの提案できるような能力を養う。
		生徒指導論(進路指導含む)	Javaプログラミング			
		教育心理学	プロジェクト基礎演習			
		総合的な学習の時間の指導法	AIアルゴリズムとプログラミング			
		情報基礎学				
		情報通信システム概論				
3年次	春学期	教育経営論	情報システム工学演習			高等学校での情報科目の指導要領への知識を深めつつ、ソフトウェアやデータベース、コンピュータネットワークなどの情報システム、情報通信への技術について深く学び、生徒への指導力の基礎となる知識について身に付ける。
		情報科教育法 I	情報システム開発基礎演習			
		教育実習事前事後指導	データベース工学			
			コンピュータネットワーク			
	秋学期	情報科教育法 II	クラウドコンピューティング			指導時に利用する情報化コンテンツを、実際に分析・設計・開発・評価を行う。また、模擬授業実践を積み重ね、情報科目への指導力を育成する。
		教育実習事前事後指導	ソフトウェアデザイン			
		学校体験活動	情報通信ネットワーク工学			
秋学期集中	教育相談					
4年次	春学期	教育実習 I または 教育実習 II	情報と職業			コンピュータ等の実習やICT活用の手法を学び、それらを積極的に利活用した授業デザインを構築できるようにする。また、模擬授業の実践を通して現場の「教育実習」でその力を発揮できるよう育成する。
		教育実習事前事後指導				
	秋学期	教職実践演習				日々進歩する情報技術への対応力を身に付け、その時代にあった情報モラルについて指導できるよう、模擬授業の実践を通して現場の「教育実習」で、その力を発揮できるよう育成する。
		教育実習事前事後指導				